

清水西地区の誇り

生き物と共生できる里地里山をめざして



清水西地区は、水田・畑等の耕作地、草地、樹林が大半を占めている地域である。周辺の農地・ため池は、絶滅が危惧されている「八丁トンボ」「ギフチョウ」の繁殖・生息地でもある。また、多様な鳥類の採食地や中継地ともなっており、コウノトリ6羽が大空を舞う姿が人々を感動させた。これからも里山での活動を楽しみながら、人と自然が共生できる環境の維持管理に努め、未来の子ども達にこの地域の宝を残したいと考えている。



「自然と遊ぼう」や「志津の庄ふるさと探訪」の中で、ため池観察会や史跡めぐりをして豊かな自然や歴史を再認識し、地元ゆかりの詩人『広部英一』氏の詩の背景になった里山の生き物や美しい景観を未来に残したい思いで活動している。



地域の人達の指導で子ども達が作った「西公石窯^{さいこう}」で焼いた猪や鹿の肉が好評。餌を求めて人里まで下りてくる生き物を食害対策としてジビエ料理にして活用している。木の実を食べて育った天然の肉は、低脂肪、高栄養でヘルシーである。



清水西公民館 館長
木下 成三さん

館長の木下さんは「清水西地区の自然豊かで美しい環境には、住んでいる方達がまだ知らない希少野生動植物がたくさんいることがこれまでの活動で分かってきました。自らの手で守り育み新たな発信になればと願っております」と話す。

清水西公民館

住 所／福井市大森町20-43-1
電 話／0776-98-4560
交通機関／京福バス「清水西小学校前」バス停下車